



# 社協だより

平成28年 1月15日発行

社会福祉法人 士別市社会福祉協議会 士別市東5条3丁目 サポートセンターしべつ内(TEL22-3012)

<http://www.shibetsu-shakyo.jp/>



花柳流みどり会



士別幼稚園



あけほの子どもセンター

## 第33回歳末チャリティーふれあい演芸会

ボランティアサークルむぎの会主催の「第33回歳末チャリティーふれあい演芸会」が、昨年12月6日に士別市民文化センターで開催されました。

この日は、19団体・個人約250人が出演して、琴・幼稚園児らのお遊戯や子どもセンターの一輪車・フォークダンス・舞踊・吹奏楽などバラエティーに富んだ内容で、訪れた観客は、多彩なステージに終始大きな拍手を贈っていました。

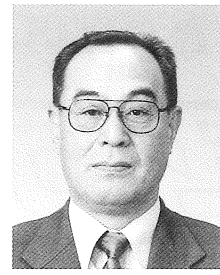
入場料の益金は、46万1930円という大きな金額となり、「歳末たすけあい募金」として、共同募金委員会に寄付されました。

ご協力いただいた市民のみなさまに、心より感謝いたします。



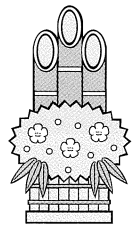
士別南中学校吹奏楽部

# 新年のご挨拶



社会福祉法人  
士別市社会福祉協議会

会長 齊木 勲



明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また平素より、社会福祉協議会に対しまして、温かいご支援、ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

さて近年、急速な少子高齢化の進行や核家族化にともない、単身世帯などが増加しており、福祉・介護・医療など、高齢者及び障がい者等市民の、日常生活を取巻く課題は複雑多様化しております。

このためこうした状況を踏まえ、地域福祉の中核を担う社会福祉協議会として、本年も、行政をはじめ自治会や民生委員児童委員協議会・ボランティア等、多くの関係団体と連携を密にしなから、小地域福祉活動及びサロン事業等の地域支援合い活動、並びに、行き届いた介護サービスの提供など様々な事業について、その取り組みを、なお一層、推し進めてまいりたいと考えております。

今後、市民の方々が住み慣れた地域で、安心して生活できる福祉のまちづくりに、鋭意努力してまいりますので、特段のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を衷心よりお祈りし、新年のご挨拶といたします。

## 歳末チャリティー 第31回カラオケ選手権大会

しべつふれあいの会主催の「歳末チャリティー第31回カラオケ選手権大会」が、昨年12月13日に士別市民文化センターで開催され、会場は、満員の観客で埋め尽くされました。今回の選手権には、21人が出場、これまで練習を重ねてきた歌を披露し、観客から盛んに拍手が贈られていました。

また、ゲストコーナーでは、前回優勝者が出場して自慢の歌声を響かせていました。

このほか、賛助出演として日本現代舞踊徳本流すずらん会による舞踊が披露され、美しい踊りで舞台上に花を添えていただきました。

入場料の益金は、38万8330円という大きな金額となり「歳末たすあい募金」として共同募金委員会に寄付されました。

ご協力いただいた市民のみなさまに心より感謝いたします。



## 住みよい地域にするために 「出前講座」のお知らせ

士別市社会福祉協議会では、自治会や学校、団体、グループを対象に、地域での福祉活動など、福祉のまちづくり推進のため、また、社会福祉協議会の活動を知ってもらうことを目的に、職員・講師などによる出前講座を行っております。

### ○ 講座の内容

- 小地域ネットワークづくり事業
- 地域支え合いサロン開催モデル事業
- 福祉パトロール事業
- 介護保険事業
- ボランティア活動事業
- 福祉教育事業
- 日常生活自立支援事業
- 成年後見人制度など

- 出前講座の利用料金は、無料です。
- いつでもお気軽にご連絡下さい。

# ボランティアセンター『掲示板』

## さぼてん12月の活動「年賀状代筆・三年生を送る会」

12月12日(土)、平成27年最後となる「さぼてん」の活動を実施しました。参加者は、東高生徒5名と先生2名、翔雲高生徒3名と先生1名の計11名。年賀状代筆と3年生を送る会を行いました。  
「年賀状代筆ボランティア」は、体が不自由な方の代わりに、年賀状の宛名書きを行うものです。

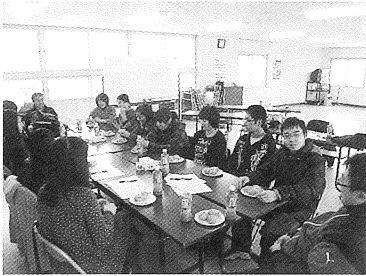
今年2名の方より依頼がありました。わからない字があると先生に聞いて、一枚一枚丁寧に組みました。

三年生を送る会では、この1年の活動を、スライドを見ながら振り返りました。

5月の顔合わせから旭山動物園鑑賞会、ふれあい広場、児童館夏祭り、桜丘荘夏祭り、フークキャンプなど、楽しかったことなどを思い出し、大いに盛り上がりました。

本日の活動が最後となる、3年生より感想として、「ふれあい広場で司会を担当し、初め不安があったが、楽しくできた。さぼてんで学んだ事がたくさんあり、活動してよかった。」「フークキャンプに参加して普段者であることの少ない災害について、考えた事が良い勉強となった。」と話していました。

さぼてんで体験したことは、きっと今後の生活に役立つはず。これで終わりではなく、これからも、つなぐりを大切に一緒に活動してほしいと願います。



## 社協なんでもQ&A⑩

### 「子どものこころを育む講演・交流事業」

ってなあに？

士別市社協では、ボランティアや福祉関係等の実践者との関わりを通し、「子どもの心を育む福祉教育推進事業」として、市内学校へ様々な分野の講師を派遣させていただいています。

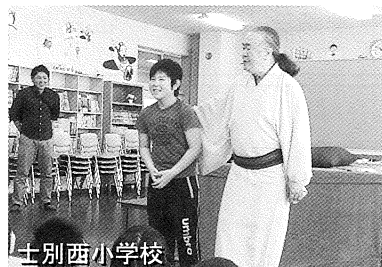
今年度は、ウィルチェア(車いす)ラグビー日本代表選手の池崎大輔氏や、落語家の林家とんでん平氏を講師に招き、学校で講演や交流を行いました。

「こんな福祉の授業をしたい、してほしい」という希望がありましたら、社協(担当:生方・古川)へお気軽にご相談ください。



士別南小学校

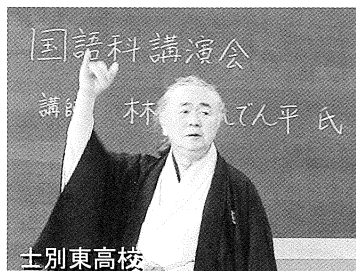
ウィルチェアラグビー選手池崎大輔氏



士別西小学校

落語家

林家とんでん平氏



士別東高校



士別西小学校



